

タイトル	失敗は怖くない		
ワークの目的	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな考え方に対しても、頭ごなしに否定しない姿勢を養う <ul style="list-style-type: none"> - クラス全体の心理的安全性の向上も目指す 		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ● このワークでは、違った考え・ものの捉え方を外部に表現することの下地を作り、違った考えを安易に否定しない姿勢を養い、クラスの“心理的安全性”を高めます ● ここでいう“心理的安全性”とは、“ひとりひとりが気兼ねなく発言できる、本来の自分を安心してさらけ出せる、と感じられるような場の状態や雰囲気”と定義しています ● 年齢を問わず、今自分がいる場において、気兼ねなく、自分の意見を発言できない状態は同調圧力を助長するだけでなく、他の人の意見も抑制されてしまうため、相手への理解を深めることを阻害してしまいます ● そのため、なかなか普段では言いづらいことも批判・否定せずにはまず受け止める訓練を行うことで、心理的安全性を高めることの重要性を実感し、多様なものの見方・考え方を理解し、尊重する姿勢とコミュニケーション方法を身に着けます 		
対象学年	小学校低学年	所要時間	20~30分
準備	筆記用具、ワークシート		
実施内容	支援の観点・留意点		
① 導入			
<u>趣旨を簡単に説明</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「今日はみんなでここ最近でやっちゃった失敗を振り返り発表していきます！失敗自体は誰にでもあるものなので、言える範囲でお互いと言っていきたいと思います」 ● 「約束として、この時間や終わった後に相手の言ったことにツッコミを入れたり、ちゃかすことは禁止です。相手がまずはいったことを受け止めることを大事にしましょう」 		<ul style="list-style-type: none"> ● 心理的安全性の構築具合は個々のクラスにより異なるので、無理やり開示を迫ることは避け、言える範囲から始めることが重要です 	
② ワーク			
<u>失敗を簡単にひとりひとり書いてもらう</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● まずは簡単に失敗したことをワークシート（図1）に書いてもらいます <ul style="list-style-type: none"> - 「まずは最近やっちゃった失敗を、5分くらいで配った紙に書いてみましょう」 - 「なにかをわすれたとか、小さなものでも大丈夫です」 		<ul style="list-style-type: none"> ● 最初は簡単な日々の失敗について書いてもらうことから始めましょう。初回以降、こちらのステップはスキップして構いません。 	

<p><u>まずは言えそうなひとから発表してもらう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 改めて、発表する人に対するルールを周知します <ul style="list-style-type: none"> - 「もう一度言うけど、誰にでも失敗はあるし、何かしたら失敗は当然起こるので、今の時間も終わった後も茶化したりするのは禁止です」 - 「失敗を言うのは勇気がいります。言ってくれたら、みんなで「ナイス！」と褒めましょう！」 - 「また、発表するときは、最初に「僕・私やっちゃった！」と明るく言うことにしましょう！」 ● まずは先生が例を示します <ul style="list-style-type: none"> - 「まずは先生から行きますね！」 - 「私、やっちゃったんです！XXX（先生なりの最近の失敗を言います）」 - 「それでは、皆さんナイスって言ってみてください。こんな形で進めていきましょう」 ● 自分から発表できる人を探します <ul style="list-style-type: none"> - 「だれか、「やっちゃったこと」、言いたいひとはいるかな？」 ● もしもない場合は、先生が選び、本人に中身を確認した上で発表してもらいます <ul style="list-style-type: none"> - 「みんなが迷っていきそうなので、先生が選びますね」 - 「一度書いたものを見せてもらってよいですか」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 心理的安全性を保つ上での必須ルールなので、実施時は毎回伝えるようにしてください ● 先生が最初に言うことで、児童にワークの進め方をイメージしてもらうとともに、アイスブレイクを行います
<p><u>発言する人を変え、失敗自体を褒めあっていく</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他の児童にも、可能な限り発表してしてもらいます <ul style="list-style-type: none"> - 「XXさん、ありがとう！それでは次にいう人は誰かな？」 - 「いなければ、時計周りで行きましょう」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰かを傷つける内容や深刻な内容が含まれる場合は止めてください ● 言えない児童がいた場合、発言をスキップして構いません
<p><u>まとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● まず、言ってくれたこと自体を褒めます <ul style="list-style-type: none"> - 「みんな最初はなかなか言いづらかったかと思うけど、言ってくれてありがとう。こういうことが気軽に言い合えるって良いよね」 ● 誰でも考え方や試し方は違うので、頭ごなしに否定しないこと、認め合うことで安心感が出て仲良くできることを伝えていきます <ul style="list-style-type: none"> - 「みんな立場や考えが違って、やることも失敗することも違うので、なにかやっちゃっても茶化したり否定しないことって大事だよね」 	

- | | |
|--|--|
| <p>- 「否定されずに聞いてもらうだけで、なんだか安心感もあったんじゃないかな。安心感があるとお友達とも仲良くなれるよね。普段の生活でも、違いや失敗をからかったりせずにしていこうね」</p> | |
|--|--|

ワークシート (図1)

やっちゃったこと！記入シート

やっちゃった！

なんでだろ？

提供・作成：#たしかに 監修：内山唯日